



高校生国際協力文化祭開催される!! —札幌から—

3月10日(土)、11日(日)の2日間、国際協力・国際理解に関心のある35人の高校生が参加し、JICA札幌で国際協力文化祭が開催されました。参加した高校生から次のようなうれしい感想をいただきました。

「すごく楽しかったです!!最初は緊張して、班の子ともうまく交流できなかったけど、最後は仲良くなれて良かった。参加している人は、みんな国際協力で理解がある人たちだったから、お互いに真剣に世界を知ろうという空気が伝わってきてとても勉強になりました。みんなとても知識も経験も英語力もあったので、自分もがんばろうという気持ちになりました。今回は貴重な体験ができて良かったです。みなさんに感謝します!!」
(JICA札幌 佐藤(JOCA職員))



グループワークで議論をする高校生



JICA研修員の母国でのめざましい活躍 —帯広から—

JICA帯広で実施する地域別研修「都市計画・土地区画整理事業」に参加したペルーの帰国研修員シルビア・メンドーサさん(2005年度参加)が、都市計画分野の栄えある賞を受賞しリベルタルド州トルビージョ県の副知事に就任しました。シルビアさんは帰国後、ペルー国カトリカ大学が実施した「都市グッドプラクティス」のコンペティションにおいて最優秀賞を受賞し、この功績から副知事に就任したものです。他にも、1998年に同研修に参加したファン・カルロス・ガルシアさんはコロンビアで最も権威のある建築賞「ビエンナーレ建築賞」(都市地域整備部門)を受賞しました。

帯広で学んだ知識や帯広での経験を活かし母国でめざましい活躍をするJICA研修員のニュースを聞く、JICA帯広の仕事の中で最もうれしいことの一つです。
(JICA帯広 木村)

JICA帯広(帯広市西20条南6丁目1-2) Tel.0155-35-1210 FAX.0155-35-1250



ペルー、リベルタルド州トルビージョ県副知事に就任した帰国研修員



協力隊OG、体験を大いに語る!! —旭川から—

4月21日(土)ロワジールホテル旭川でJICAボランティア応募説明会を開催。青年海外協力隊、シニア海外ボランティアあわせて、65名ほどの方がご来場下さり、盛会となりました。「協力隊体験談」の発表では旭川市在住の2名のOGにご登場頂き、職員も圧倒する(?)ウイットに富んだお二人の軽妙な語り口に会場の空気は和やか&ほんわかとしたものになり、大いに盛り上がりました。参加した方の中から実際に開発途上国でのボランティア活動のすばらしさを味わえる方が一人でも多く出てくることを願っています。
(国際協力推進員(旭川) 鳥居)

JICA旭川デスク(旭川市役所第3庁舎国際交流課内) Tel.0166-27-1550 FAX.0166-23-4924



体験談を熱心に語る青年海外協力隊OG



アースディ函館2007開催! —函館から—

4月22日(日)北海道国際交流センターをはじめとする道南の団体が、函館西部地区でアースディ函館2007を開催しました。アースディは地球のために行動する日で1970年から続く世界最大の環境フェスティバルです。そんな思いを函館でも広げようと昨年からはじまりました。今年は北海道国際交流センターをメイン会場にして環境ワークショップや講演会を行い、アースディフィールドと題して西部地区清掃散策もしました。JICAは国際協力のパネル展示や協力隊OBによる環境ワークショップを行い、大人や子どもまで沢山の人が楽しんで環境について考えてもらいました。
(国際協力推進員(函館) 岡田)

JICA函館デスク((財)北海道国際交流センター内) Tel.0138-22-0770 FAX.0138-22-0660



アースディで環境について学ぶ市民



JICA国際協力ギャラリー展示 「北見における国際協力10年の歩み」開催!—北見から—

2006年3月22日から4月9日まで、北見市民会館にてJICA研修員とホームステイ受入家庭との交流の様子等の写真約100点を展示しての写真パネル展が、JICA帯広と北見国際技術協力推進会議の共催で開催されました。中央アジア諸国からの研修員達から北見市へ贈られた記念品もいくつか展示され、暖かそうな民族衣装に感嘆の声も聞かれました。会場には約200名の方が来場。写真提供いただいた方には同時に作成した写真集も贈られ、大好評でした。

(国際協力推進員(北見) 高橋)

JICA北見デスク(北見市役所市民活動課国際交流係内) Tel.0157-25-1105 FAX.0157-25-1016



国際協力ギャラリー展示「北見における国際協力10年の歩み」